

2016年4月18日

内閣総理大臣 安倍晋三様

被災者支援・救援に全力をあげ、 九州電力川内原発をただちに停止することを求めます

新日本婦人の会
会長 笠井貴美代

熊本・九州での大地震への連日の対応と奮闘、お疲れ様です。

マグニチュード6.5と7.3の地震で、死者42人、負傷者2000人以上、家屋の倒壊、道路の寸断など甚大な被害がおき、20万人が避難しています。さらに、今後一週間は大きな地震がおきる可能性もあると専門家が指摘しています。被災者からはSOS、水を、食料を早くとの切迫した声が次つぎと届いています。私どもの会員からも子どものミルク、おむつ、ウェットティッシュをと、市民の自主的な情報発信や物品提供や、助け合いがはじまっています。政府として何より人命優先で、迅速な救命・救援につくすとともに、妊産婦やアレルギー児など被災者のニーズにそった、細やかな対応をただちに行ない、命と生活を守る手立てをとるよう、つよく求めます。

また、こんな非常事態に川内原発が稼働を続けていることに、隣県の鹿児島をはじめ各地で不安がひろがっています。もし、事故になった場合のことを考えると、おそろしいことです。現在、電力の需要を考えても、原発を稼働し続ける必要はないし、事故があった場合に避難に使うとしている新幹線も高速道路も不通になっていて、避難計画はまったく機能せず、重大事態になります。地震への不安、そのうえ、原発事故への不安を抱えながらの生活が強いられる住民の声に政府は真剣に耳を傾けるべきです。

以下、強く要望します。

【要請項目】

1、政府として、被災者の迅速な救命・救援と、被災者のニーズにそった細やかな支援、被害の拡大防止に全力をあげること

1、川内原発1.2号機はただちに停止すること